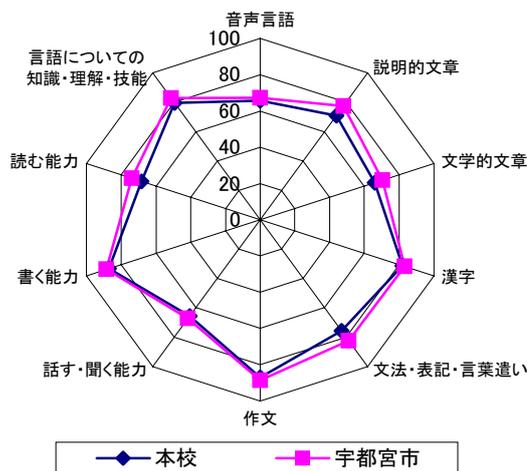


宇都宮市立上河内中学校第2学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	65.7	67.2
	説明的文章	70.9	77.5
	文学的文章	65.9	70.4
	漢字	81.9	83.1
	文法・表記・言葉遣い	75.7	82.5
	作文	87.0	88.6
観点別	話す・聞く能力	65.7	67.2
	書く能力	87.0	88.6
	読む能力	68.4	73.9
	言語についての知識・理解・技能	79.8	82.9



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (65.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の授業で「聞くこと」「話すこと」について計画的に指導してきたが、なかなか成果となって表れない。 ・生徒の興味・関心を引くようなスピーチをテーマに授業前の導入に入れる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞くこと」「話すこと」を授業前の導入に何回か計画し、円滑なコミュニケーション能力を育成していきたい。
説明的文章 (70.9%)	<ul style="list-style-type: none"> ・説明的文章は、最も生徒に敬遠されがちな学習教材の一つである。自分の興味のない分野には取り組みの浅さを感じさせられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明的文章のおもしろさを「文図」や「一読総合法」などを用いて工夫して指導を継続していきたい。また、新聞の社説やコラムなどを例に挙げて、巧みに「論」が組み立てられていることを実感させる授業展開をしたい。
文学的文章 (65.9%)	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的分野は、生徒が最も好む分野の一つである。しかしながら、自分の主観的読み方によって、誤った読み取りをしてしまいがちな一面もある。そのことが今回の結果に表れたと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的文章をいかに客観的に読み取っていくかということ徹底して、授業展開をしたい。また、良書に親しませる機会を積極的にとり、「感想文」などの交流会も計画的に位置づけたい。
漢字 (81.9%)	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字は、教材の中で、意図的に位置づけられていて、「漢字」の魅力に触れられるようになっている。従来の漢字練習を多くすることも合わせて行ってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字練習帳を使って、漢字テストを頻繁に行い、生徒の意識を高めていきたい。
文法・表記・言葉遣い (75.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中でも言葉遣いが不適切な生徒が多いように思える。また、正式な場面での話し方が、わからない生徒も見受けられるのが実情である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発言、質問の仕方、言葉の使い分けを日頃から注意させ、「ことば」に対する意識を高めていきたい。
作文 (87.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を書くことについて、苦手意識を持っている生徒が見受けられる。「書く」ために、材料集めを付箋紙を用いて行わせたり、意見文を書き、発表させたりしてきた。力がつきはじめている分野である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度、実践してきたことを工夫しながら改善し、さらなる「書く力」の育成に努めていきたい。良いものは、広報誌や新聞社への投稿を促し、生徒の励みにしていきたい。